

総合安全保障研究科前期課程第28期学生 選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

- 問1 今日の国際関係において、自由や民主主義、人権、法の支配などの「価値」は、いかなる意味をもち、いかなる役割を果たしているか。具体例を挙げて、「国益」との関係から論じなさい。
- 問2 「ウクライナとロシア」の関係と「台湾と中国」の関係には共通点とともに差異が存在する。2つの「二国」関係の共通点と差異を列挙したうえで（共通点1個以上、差異1個以上。箇条書きではなく文章にすること）、ウクライナ戦争が台湾海峡の問題に対して示唆すること（教訓）、留意すべきこと、を論じなさい。

国際政治史

次の2問に答えよ。

- 問1 下関条約（1895年）以降の日露関係の展開につき、満州問題と朝鮮問題との関連に配慮しつつ論述されたい。
- 問2 ヴェルサイユ体制下で「民族自決主義」が提唱された。これに伴い生じた事象について、具体例を挙げて説明せよ。

経済学

次の2問に答えよ。

問1 ある国における内戦がその国や周辺国にもたらすコストについて、経済学的に論じなさい。

問2 「貿易の利益」をめぐる対立の主な論点を整理し、その是非を論じなさい。

憲 法

次の2問に答えよ。

問1 日本国憲法には、諸外国の憲法にあるような緊急事態条項が存在しない。これについて、

- ① 日本国憲法の大きな欠陥であるとしてその必要性を主張する立場、および、
 - ② 緊急事態条項がなくても法律で各種緊急事態対応が定められており問題ないとしてその必要性を否定する立場、二つの立場が対立している。
- ①②それぞれの論拠を説明しなさい。

問2 国連平和維持活動に日本の自衛隊が関与する場合における日本国憲法上の制約について解説しなさい（諸説ある場合には、説の対立も踏まえて説明しなさい）。

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 「平和のための結集」決議（1950年国連総会決議 377(V)）の国際法上の意義とは何か。

問2 武力紛争法における軍事目標主義の意義、根拠、効果、形成の経緯を論ぜよ。

組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 「労働生産性」について、①その定義(計算方法)を示し(できれば複数の計算方法を示して、それぞれの特徴を説明し)、②その国際比較における日本の水準を論じ、③日本がそのような水準にある理由を考察し、④これを向上させるための施策を提案しなさい。平易な文章で、わかりやすく論理的に書くこと。

問2 現在の自衛隊組織におけるインセンティブ・システムについて、①その長所と短所を考察した上で、②より良いインセンティブ・システムの具体的なあり方について提案し、③その提案の妥当性について既存の理論を用いて論述しなさい。

行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 執政制度は、大きく大統領制と議院内閣制の2つに分けることができる。それぞれの制度の特徴や差異について詳しく説明しなさい。

問2 戦後日本の自治体では国と異なり、いわゆる二元代表制が採用されてきた。この二元代表制の仕組みや特徴、課題などについて詳しく説明しなさい。